

毛むくじゃらのテールパイプの事件：車修理の謎

2018年3月、私は2011年式のセカンドハンドのChevrolet Sailを購入しました。しかし、2018年6月頃に事故を起こしてしまいました。その後、地元の別の人に売却しました。数年後、私はその車を再び購入しました。しかし、車には深刻な問題がありました。速度が遅く、時速60キロほどしか出なかったのです。私はその車で広州から惠州双月湾まで運転しましたが、その体験は非常に悪いものでした。惠州に到着した後、私は車を修理店に持ち込みました。

修理担当者は、エンジンの上部にある排気口に問題があると考えました。そこで、彼は接着剤を使って修理を試みました。

少し試運転をして、問題は解決したと思いました。しかし、それは間違いでした。問題は続いていたのです。

その夜、私は別の自動車修理店に行きました。彼らはクラッチに問題があると言いました。

私はそれを信じず、その後数日間そのまま使い続けました。惠州双月湾近くの自動車修理店で、私はその車を店主に預けました。彼は専門家のように見えました。

修理を始めて1時間後、私たちは問題が解決したと思いました。しかし、テスト運転をしてみると、まだ直っていませんでした。

丸一日かけて、約8時間の修理作業の後、彼は問題が解決したと伝えました。問題は車のテールパイプにありました。テールパイプは毛でいっぱいになっていました。アクセルをしばらく踏み続けると、毛が集まってエンジンの空気取り入れ口を塞いでしまうのです。そのため、エンジンは全速力で動かず、半分ほどの速度しか出ませんでした。そして、アクセルを踏まないと、毛が少しずつ空気取り入れ口から離れるので、車は少し速く走ることができたのです。

そこで、自動車修理の専門家はすべての毛を取り除き、いくつかの自動車部品を交換しました。

これは忘れられない経験で、プログラミングにおける根本原因分析の重要性を浮き彫りにしました。